

# ここ通編集委員によるレポート

12月27日、第33回県民健康調査検討委員会が開催された。原発事故当時18歳以下と事故後1年間に生まれた子どもが対象の甲状腺検査は、4巡目に入り、25歳の節目検診（平成4年生まれ）も実施されている。小児甲状腺がん及び疑いと診断されたのは、前回から3人増え205人となった（先行検査116人、2巡目71人、3巡目18人）。集計外の県立医大で手術した12人（良性1人含む）と25歳の2人を加えると219人となる。手術を受けた179人中177人ががんと確定している。

会議の冒頭、環境省から「国際がん研究機関（IARC）の専門家グループが、今後、原子力事故後の甲状腺集団スクリーニングは推奨しないと提言した」と報告された。過剰診断説で原発推進の側にたつIARCの提言をもって、甲状腺検査打ち切りへと誘導する議事進行となった。

『甲状腺検査のお知らせ』の文面の見直しをめぐり、「学校での検査は倫理的に問題がある」と科学的な根拠もなく主張する大阪大学の高野徹委員に対して、福島大学の富田哲委員は、「検査のリスクを過剰に強調するような不公平な書き方は避けてもらいたい」と反論した。

甲状腺外科医である清水一雄委員は、「この検査は被ばくという背景因子がある。自分の子が被ばくしたら、

ほかの子と違ってどうなるのかということを考えなくてはならない」と述べた。さらに県立医大での125例の手術症例について、「手術前診断ではリンパ節転移が22.4%なのに、手術後診断では77.6%となっている。これは大きな差だ」と指摘した。実際に手術を行うと約8割がリンパ節転移していたことになる。

12月14日の県議会では、県民健康調査課の鈴木陽一課長が、「甲状腺検査サポート事業で、233人に約1600万円を支給し、233人全てが甲状腺がん」と答弁していた。ところが、今回の検討委員会で鈴木課長自ら「甲状腺がんは手術で確定した77人。県議会での答弁は誤りだった」と議会答弁をいとも簡単に修正した。甲状腺がんの人数を少なく見せようとしていることは誰の目にも明らかだ。

チェルノブイリで医療支援をしていた松本市の菅谷昭市長は、「チェルノブイリでは、事故から5年ほどたって健康被害が急増。特に顕著なのは小児甲状腺がんの急激増加です。そして異常ながんの発生の増加傾向は、事故後10年目の1995年にピークに達しました。6人に1人は肺への転移が確認されていることは重視すべきです」と述べている。甲状腺検査は継続しなければならず、福島県は県民を守る責任がある。

## 〈甲状腺がんまたは疑いの子ども〉

2018年9/30現在

## 〈がんまたは疑い 市町村別内訳〉

良性1人は含まない

	先行検査	本格検査		
		2巡目	3巡目	4巡目
甲状腺がん・疑い	116人	71人 <small>1巡目結果内訳 未受診1人 A1:33人 A2:32人 B:5人</small>	18人 <small>2巡目結果内訳 未受診3人 A1:2人 A2:8人 B:5人</small>	
手術実施	102人	52人	13人	
がん確定	101人	52人	13人	
年齢 (震災当時)	6歳～18歳	5歳～18歳	6歳～16歳	
性別	男性39人:女性77人	男性32人:女性39人	男性8人:女性10人	
腫瘍径	5.1mm～45.0mm	5.3mm～35.6mm	5.6mm～33.0mm	
対象人数	36万8000人	38万1000人	33万6000人	29万3000人
対象者	原発事故当時18歳以下	原発事故当時18歳以下 +事故後1年間に生まれた子ども		
実施人数	300,476人	270,540人 (2018年3/31現在)	217,526人 (2018年9/30現在)	41,537人 (2018年9/30現在)
実施年度	2011年10月～2015年4月	2014年4月～2018年3月	2016年5月～	2018年4月～
二次検査対象者	2,293人	2,227人	1,485人	151人
A1・A2以外	1,379人	1,398人	833人	6人
穿刺(せんじ)細胞診受診	547人	207人	54人	
穿刺細胞診受診率	39.7%	14.8%	6.5%	

集計外 14人 ①節目の検査 25歳時 2人  
②県立医大で手術 12人（良性1人含む）

国が指定した避難区域等の13市町村	中通り地方	会津地方
川俣町 2	福島市 22	榎枝岐村 0
浪江町 4	二本松市 6	南会津町 0
飯館村 0	本宮市 6	金山町 0
南相馬市 6	大玉村 2	昭和村 0
伊達市 9	郡山市 43	三島町 0
田村市 5	桑折町 1	下郷町 1
広野町 0	国見町 0	喜多方市 3
楢葉町 0	天栄村 0	西会津町 0
富岡町 1	白河市 7	只見町 1
川内村 1	西郷村 2	猪苗代町 1
大熊町 3	泉崎村 1	磐梯町 0
双葉町 0	三春町 1	北塩原村 0
葛尾村 0	須賀川市 5	会津美里町 1
不明(※) 5	鏡石町 1	会津坂下町 1
計 36	中島村 1	柳津町 0
	矢吹町 1	会津若松市 8
	石川町 1	湯川村 1
	矢祭町 0	不明(※) 2
	浅川町 0	計 19

浜通り地方
いわき市 33
相馬市 1
新地町 0
不明(※) 3
計 37

※3巡目からは、市町村別ではなく「避難区域」「浜通り」「中通り」「会津地方」の4地域別の公表になったため、市町村別の人数は不明です。